

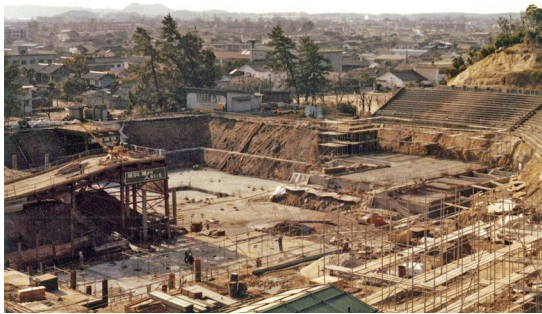
2 写真で見る館のあゆみ



昭和43年 郷土視覚定点資料事業開始(現在も継続中)
昭和43年度撮影の科学博物館(現・仁風閣)



昭和45年 建設工事着工



昭和45年 建設工事開始(建設前は公設グラウンドだった)



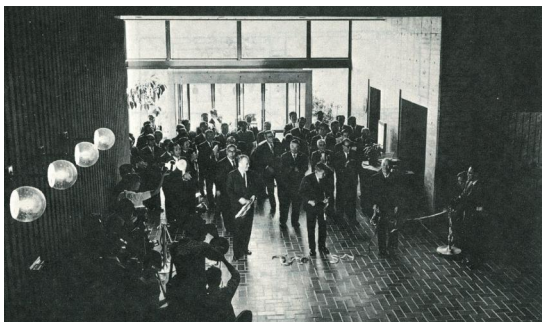
昭和45年～ 建設工事の様子



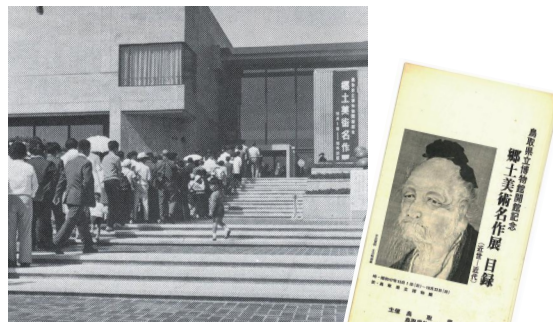
昭和47年 完成時のエントランスホール



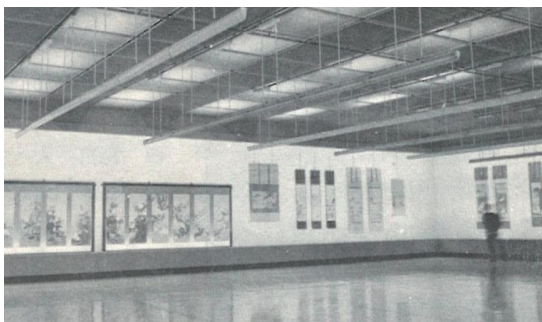
昭和47年 開館当時の鳥瞰



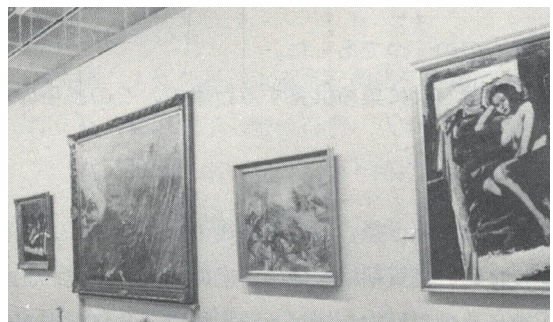
昭和47年10月1日 開館式挙行



昭和47年10月 開館記念展「郷土美術名作展」入館のため並ぶ人々



昭和47年10月 「郷土美術名作展」近世・近代日本画展示風景



昭和47年10月 「郷土美術名作展」前田寛治《海》他展示風景



昭和49年10月 巡回展「日本近世の美術・工芸」会場風景



昭和50年 人文担当最初の特別展「鳥取の明治風俗展」を開催



昭和51年10月 「松方コレクション展」会場風景



昭和52年8月 「文化庁買上優秀美術作品展」会場風景



昭和53年度 巡回展(鳥取県の洋画)準備風景
会場 淀江中央公民館



昭和55年3月 扇の山火山弾が県の天然記念物に指定



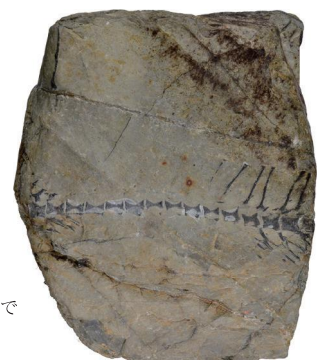
昭和56年9・10月 特別展「県政100年記念展」を鳥取県立博物館を主会場として県内各地で開催



昭和56年 「県政100年記念展」会場入り口



昭和63年6月 ダイオウイカ液浸標本を全国で初めて展示



平成4年12月 八頭町船岡で発見された魚類化石受贈
県内初となる中生代化石



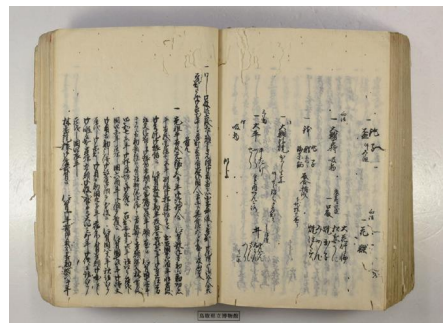
平成4・7年 オウギハクジラ雌雄の骨格標本を展示
雌雄そろっての展示は当時全国唯一



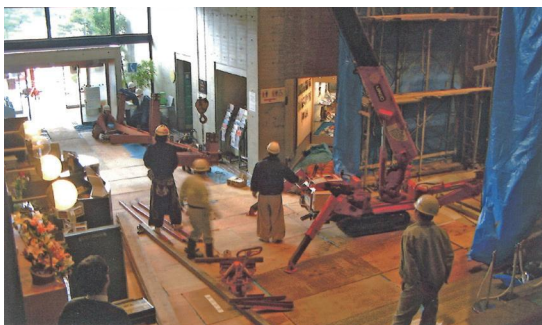
平成9年 鳥取県が「戦後50周年記念事業」で収集した戦争資料の移管を機に近現代担当が新設。写真は近現代展示



平成10年 中国河北省の河北省博物館(現・河北博物院)と「友好交流館締結協定書」に調印



平成12年 松葉がにの名称が記された最古の文献(当時の発見により、11月の第4土曜日が「松葉がにの日」とされる。「町目付日記」弘化2年11月13日条



平成14年1月 バリアフリー工事 身障者用エレベーター設置



平成14年2月 バリアフリー工事 階段手すり設置



平成14～17年 鳥取市国府町宮下での化石発掘事業



平成15年7月 日南町で飼育されていた巨大オオサンショウウオの標本受贈(体重44.3kg)



平成16年 古文書解読ボランティア開始



平成17年3月 「アンドリュウ・ワイエス水彩素描展」開幕行事



平成21年1月 鳥取市佐治町辰巳峠産の昆虫化石ヒメマルヒラタドムシの受贈。このグループでは国内最古の発見



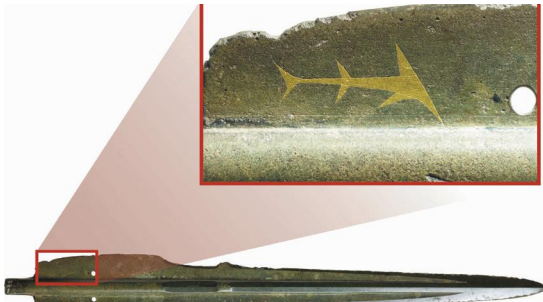
平成21年3月 駐車場整備工事



平成22年4月 山陰海岸学習館リニューアルオープン



平成27年2月 喫茶スペース改修工事



平成28年 サメの刻印のある銅剣発見



平成28年 企画展「大荒神展」を大山圓流院(大山町)で開催。人文担当企画展を館以外で開催するのは初



平成28年9月 外壁等改修工事



河北博物院との交流20周年を記念し、平成30年と令和元年に両館で伝統工芸の交流展示を開催



令和2年6月 当館職員が新種の昆虫ヒョウノセンヒメハナノミを記載・発表



令和4年8月 企画展「ティラノサウルス展」が入場者新記録を達成